

2020年1月16日

各位

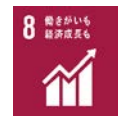
株式会社 みなと銀行
りそな総合研究所 株式会社
神戸市

～産官学が連携した神戸発 SDGs 啓発活動～

「 KOBE SDGs Partners 創生会議 」の開催について

関西みらいフィナンシャルグループの みなと銀行（頭取 服部 博明）とりそなホールディングス傘下のりそな総合研究所（社長 氷坂 智晶）は、グループで連携して、神戸市主催の表題事業に運営事業者として参画することとなりましたので、お知らせします。

本取り組みは、関西みらいフィナンシャルグループが昨年4月に公表しました SDGs コミットメント（関西みらい Sustainability Challenge 2030）」のテーマ、「地域経済の活性化」に沿うもので、活動方針である「地域発 SDGs の輪を拡げる」ものです。



今回の創生会議は、啓発セミナーと実践的プログラムの二部構成とし、グローバルに幅広く事業を展開なさる企業経営者の方や、SDGs の啓発に努める団体の方の知見を共有しながら、その後のワークショップで、実践的な取組手法等も学んで頂く内容としています。神戸市内の中小企業や団体の方々を対象に、参加者（150名）を募集いたしますので、ご希望の方は募集要項に沿いお申し込みをお願いします。

【募集内容】

1. 啓発セミナー

日 時	2020年2月4日（火）13時30分～17時30分（開場 13時00分～）
場 所	神戸ポートピアホテル 本館B1階 『借 楽』
プログラム	第1部：基調講演 （基調講演1） <u>「顧客の問題解決－ネスレの共通価値の創造（GSV）の実践とSDGsへの貢献」</u> ネスレ日本株式会社 代表取締役社長兼 CEO 高岡 浩三 氏 （基調講演2） <u>「これからSDGsをお始めになる方へ、『関西SDGs貢献チャレンジ』、SDGs推進の取組について」</u> 近畿経済産業局 通商部 国際化調整企画官 高瀬 幸子 氏
	第2部：パネルディスカッション テーマ： <u>「できるところから、できるやり方で、SDGsを始めましょう」</u> [パネリスト] ○ケンミン食品株式会社 代表取締役社長 高村 祐輝 氏 ○ネスレ日本株式会社 代表取締役社長兼 CEO 高岡 浩三 氏 ○近畿経済産業局 通商部 国際化調整企画官 高瀬 幸子 氏 ○株式会社みなと銀行 代表取締役頭取 服部 博明 [コーディネーター] ○兵庫県立大学 国際商経学部長 山口 隆英 氏
	第3部：ワークショップ（SDGsへの「気づき」） [ファシリテーター] ○りそな総合研究所 リーナルビジネス部長 藤原 明 氏
参加対象	SDGsに関心のある市内企業、各種団体 150名を募集（参加費は無料）
募集要領	下記、「応募要領」をご参照願います。

主 催	神戸市	運 営	みなと銀行、りそな総合研究所
2. 実践的プログラム「プロセス体験機会(イノベーションミーティング)」			
日 時	2020年2月18日(火)、2月26日(水)		
場 所	ビジネスプラザこうべ(神戸市中央区多聞通2-1-2 大森みなとビル)		
内 容	グループ形式でワークショップを実施。参加者がSDGsの観点から自社事業の内容を整理し、協働で課題解決のビジネスプランを策定する。 ■イノベーションミーティング 集合ワークショップ: 4時間×2日 ■事業課題解決プラン策定		
3. 実践的プログラム「個別コンサルティング」			
日 時	2020年3月中旬頃を予定		
場 所	ビジネスプラザこうべ(神戸市中央区多聞通2-1-2 大森みなとビル)		
内 容	イノベーションミーティングで候補として出た事業課題解決プランをブラッシュアップし、社会課題解決プランとして取り組む「SDGsビジネス」プランとして策定。		
～応募要領～			
募集期間	2020年1月16日(木)～ [第1部啓発セミナー]		2月3日(月)まで
			[第2部実践的プログラム] 2月9日(日)まで
応募方法	下記WEBサイトより必要事項を入力してご応募下さい。		
U R L	https://city-kobe-sdgs-partners.jp/		
お問合せ先	神戸ビジネス創生会議 運営事業部 [担当: みなと銀行地域戦略部 川上] (078) 333-3235		
			以 上

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは? Sustainable Development Goals

2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない(leave no one behind)ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル(普遍的)なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。